

フロントエンドエンジニアが次に学ぶべき技術

フロントエンド開発を取り巻く技術スタックは、2024～2025年にかけて急速な変化を遂げた。TypeScriptがGitHub上で初めてPythonとJavaScriptを抜いて最多使用言語となり（GitHub Octoverse 2025）、ビルドツールではViteがWebpackに肉薄し、コンテナ化技術Dockerの開発者利用率はわずか1年で17ポイント増の71.1%に達した（Stack Overflow Developer Survey 2025）。本稿ではこれらの一次調査データを基に、フロントエンドエンジニアが今後のキャリアにおいて優先的に習得すべき技術領域を、根拠とともに解説する。

はじめに: フロントエンド技術の変化速度と「次の一手」の重要性

フロントエンドエンジニアという職種は、HTML・CSS・JavaScriptという三つの基礎技術の上に構築されてきた。しかし、現代のフロントエンド開発の現場では、これら基礎技術の習得はあくまでスタートラインに過ぎない。フレームワーク、ビルドツール、型システム、コンテナ技術、セキュリティ知識、そしてAIコーディングツールの活用に至るまで、求められるスキルの幅は急速に広がっている。

世界経済フォーラム（WEF）が2025年に発表した「Future of Jobs Report 2025」は、今後最も急成長するスキル領域として「AIとビッグデータ」「ネットワークおよびサイバーセキュリティ」「技術リテラシー」の三分野を挙げている。これはエンジニア全般に対する示唆だが、フロントエンド領域においても同様のトレンドが確認できる。本稿が扱う六つの技術領域は、いずれも複数の公開調査データによって「現在進行形で需要が拡大している」ことが確認できるものに限定した。

なお、本記事はサイバーセキュリティおよび経営コンサルティングサービスを提供するLibrus株式会社が、エンジニアのキャリア形成を支援する目的で作成したオウンドメディア記事である。記事中の数値はすべて一次調査レポートまたは公式統計から引用しており、推測や見通しには当該調査主体の属性と調査方法を明記している。

1. TypeScriptは「選択肢」から「標準」へ: データが示す普及の現実

フロントエンドエンジニアが次に習得すべき技術の筆頭として、あらゆる調査データが一貫して示すのがTypeScriptである。型安全なJavaScriptのスーパーセットとして登場したTypeScriptは、もはや「先進的な選択肢」ではなく、業界の事実上の標準言語として定着しつつある。

GitHub Octoverse 2025が示すTypeScriptの台頭

GitHubが2025年に公開した「Octoverse 2025」レポートによれば、2025年8月に初めてTypeScriptがGitHub上で最も使用されている言語となり、それまで首位を保ってきたPythonとJavaScriptの両方を抜き去った。同レポートが公表した数値では、TypeScriptの月間貢献者数は260万人超にのぼり、前年比66%増という驚異的な成長率を示している。(出典:[GitHub Octoverse 2025](#)、[GitHub Blog – What the fastest-growing tools reveal](#))

#1

2025年8月

GitHub最多使用言語

(TypeScript)

+66%

TypeScript

月間貢献者数

前年比増加率

260万人+

TypeScript

出典: GitHub Octoverse 2025 / Codecademy "TypeScript is the Most-Used Language on GitHub" (2025年)

この動向はフロントエンド開発に特に大きな影響を持つ。Reactを始めとする主要なフロントエンドフレームワークはTypeScriptとの統合が深まっており、新規プロジェクトの多くがTypeScriptをデフォルト言語として採用している。「State of JavaScript 2025」調査(回答者数約12,000人)においても、TypeScriptの優位性は明確に記録されており、同調査は「TypeScriptが勝利した」と表現している。(出典: [devclass.com – State of JS 2025 Analysis](https://devclass.com/state-of-js-2025-analysis))

国内求人市場と年収データ

国内市場においても、TypeScriptの需要拡大は数値で確認できる。paiza株式会社が2025年12月に公表した「プログラミング言語に関する調査(2025年版)」によれば、言語別平均提示年収ランキングでTypeScriptは714万円で第2位を記録した(第1位はGoの723万円、第3位はRubyの689万円)。(出典: [paiza株式会社 – プログラミング言語に関する調査\(2025年版\)](https://paiza.jp/tech/survey/2025))

フリーランス市場でも同様の傾向が見られる。Findy Freelanceのレポート(2025年)によれば、TypeScript案件の平均月額単価は77.5万円(前年比較で増加傾向)、年収換算で930万円に達する水準である。(出典: [PR Times – TypeScriptエンジニア案件2025年9月最新](https://findy.jp/freelance/2025))

LAPRASが2024年5月～2025年3月の求人データを分析した「プログラミング言語・フレームワーク別求人数の推移」レポート(2025年)では、TypeScriptは「求人数が増加している言語」カテゴリに分類され、Go・Python・Rustなどとともに成長が顕著な言語として挙げられている。(出典: [LAPRAS HR TECH LAB – プログラミング言語・フレームワーク別求人数の推移\(2025年\)](https://lapras.jp/hr-tech-lab/2025))

TypeScript 市場データまとめ(2025年)

- GitHub上の最多使用言語(2025年8月、初): GitHub Octoverse 2025
- 月間貢献者数260万人超、前年比+66%: GitHub Octoverse 2025
- 言語別平均提示年収第2位・714万円: paiza調査 2025年版
- フリーランス平均月額単価77.5万円・年収930万円: Findy Freelance 2025

- 国内求人数「増加している言語」カテゴリに分類:LAPRAS 2025

2. Reactエコシステムの深化: Next.jsとServer Componentsを理解する

フロントエンドフレームワークの中でも、Reactは国内外を問わず圧倒的な存在感を維持している。しかし「Reactが使える」という知識だけでは、現在の採用市場での差別化は難しい。Next.jsを中心としたエコシステムの深い理解が、より重要なスキルとして浮上している。

国内求人における圧倒的なReact需要

Stack Overflow Developer Survey 2025(有効回答数49,000人超)では、フロントエンドフレームワークの使用率はReactが44.7%で第1位、Angular 18.2%、Vue.js 17.6%、Svelte 7.2%と続く。Node.jsを含む全Webフレームワーク中でもReactは48.7%と高い利用率を示し、デファクトスタンダードの地位を確立している。(出典:[Stack Overflow Developer Survey 2025 – Technology](#))

国内の求人数ベースの数値はさらに明確だ。Findy Freelanceが2025年9月時点で集計したTypeScriptフレームワーク別案件数では、Reactが14,676件で断然の第1位、Vue.jsが6,905件、Node.jsが4,140件、Next.jsが3,193件と続く。(出典:[PR Times – TypeScriptエンジニア案件2025年9月最新](#))

またLAPRAS(2025年)の調査では、Reactは「急速な増加が見られるフレームワーク」として分類され、FastAPI・NestJS・React Native・Spring Bootとともに求人件数の大幅増が確認されている。一方でjQueryやNuxt.jsは「ニーズに成熟が見られるもの」として件数横ばいまたは減少傾向にあり、技術選択の優先度に差が生じている。(出典:[LAPRAS – プログラミング言語・フレームワーク別求人数の推移\(2025年\)](#))

Next.js・React Server Componentsへの習得が意味するもの

Reactの学習においては、ライブラリ本体のAPIにとどまらず、本番環境での利用実態を踏まえた習得が求められる。特にNext.jsは、Reactの上に構築されたフルスタックフレームワークとして国内外でデファクトの地位を獲得しており、フリーランス案件ではNext.js指定の平均月額単価が77.0万円(年収換算849万円)に達している。(出典:[FNN – Next.jsエンジニア案件2025年最新](#))

フレームワーク	国内案件数(2025年9月)	平均月額単価
React	14,676件	—(参考: TypeScript全体で77.5万円)
Vue.js	6,905件	約75.5万円
Node.js	4,140件	—
Next.js	3,193件	約77.0万円

出典: Findy Freelance / FNN(2025年9月時点)

「State of JavaScript 2025」では、Next.jsは初期の急成長ののちに評価の複雑化が見られるとの結果も示されているが、国内求人市場における件数・単価の実態に基づけば、現時点では習得優先度の高いフレームワークである。特にReact Server Components(RSC)の理解はNext.js App Routerとの接続において不可欠であり、パフォーマンス最適化・SEO対応の観点から企業に求められるスキルとして定着しつつある。

3. ビルドツールの刷新: ViteとesbuildがWebpackを置き換える理由

フロントエンド開発において、ビルドツールの選択はプロジェクトの開発体験と生産性に直結する。2025年時点でのビルドツール市場は、10年以上の実績を持つWebpackの衰退と、Vite・esbuildという新世代ツールの台頭という大きな転換点にある。このトレンドを理解せずに開発環境の議論に参加することが難しくなっている。

State of JS 2025が示すビルドツールの勢力図

JavaScriptコミュニティを対象とした最大規模の調査「State of JavaScript 2025」(回答者数約12,000人)の結果によれば、Viteは使用率約84%・肯定的評価56%を記録しており、成長速度を示すベロシティ指標でも137.74と全ビルドツール中で最高値を示している。esbuildも117.45という高いベロシティで拡大を続けている。一方Webpackは使用率約87%と依然として最多使用ツールの座を維持しているが、2022年以降にポジティブな評価が急減し、ネガティブな評価に転じている状況が確認される。(出典:[State of JavaScript 2025 – Build Tools](#))

Webpackのネガティブ評価の主要因として同調査では設定の複雑さとビルド速度の遅さが挙げられており、新規プロジェクトにおいてViteやesbuildが選択される比率が拡大している点は、Devclass.comが同調査を分析した記事でも確認されている。(出典:[devclass.com – State of JS 2025 Analysis](#))

なぜ今ビルドツールを学ぶべきか

ビルドツールの知識は、フロントエンドエンジニアが「動くコードを書く」段階から「開発チームのインフラを整備できる」段階へとスキルアップするための鍵となる。具体的にはViteの設定ファイル(vite.config.ts)の理解、プラグインエコシステムの活用、ホットモジュールリプレイスメント(HMR)の動作原理が実務で問われる。

加えて、ViteはReact・Vue・Svelteを問わず横断的に使用されるツールであるため、習得した知識がフレームワークを超えて転用できる点も学習価値を高めている。LAPRASのデータでもVue.jsは「安定しつつ増加傾向」、NestJSは「急速な増加」として記録されており、ViteはこれらReact以外のエコシステムにおいても標準ビルドツールとして採用が進んでいる。(出典:[LAPRAS – プログラミング言語・フレームワーク別求人数の推移\(2025年\)](#))

ビルドツール比較データ(State of JS 2025)

- Vite: 使用率84%、肯定的評価56%、ベロシティ137.74(全ツール最高)
- esbuild: ベロシティ117.45、肯定的評価上昇傾向
- Webpack: 使用率87%(最多)、しかし2022年以降ネガティブ評価に転換
- 新規プロジェクトのデフォルトとしてViteまたはesbuildが普及

4. コンテナ技術(Docker): フロントエンドエンジニアにも求められる インフラ基礎知識

コンテナ技術の代名詞であるDockerは、かつてはバックエンドエンジニアやDevOpsエンジニアの専門領域と見なされていた。しかし、2025年のデータはDockerがあらゆる開発者の必須知識となりつつあることを示している。

Stack Overflow 2025調査が示すDockerの急拡大

Stack Overflow Developer Survey 2025の技術セクションは、Dockerについて次のように記述している。「Dockerはすでに人気ツールから、ほぼ普遍的なツールへと移行した。2024年から2025年にかけて、調査対象全技術の中で最大の単年増加幅となる17ポイントの利用率上昇を記録し、71.1%に達した」。この数値は、49,000人以上・177カ国の回答者を対象とした調査の結果である。(出典: [Stack Overflow Developer Survey 2025 – Technology](#))

71.1%

2025年のDocker

開発者利用率

+17pt

2024→2025年の

利用率増加幅

(全技術中最大)

49,000+

Stack Overflow 2025

調査回答者数

(177カ国)

出典: Stack Overflow Developer Survey 2025 (<https://survey.stackoverflow.co/2025/technology>)

フロントエンドエンジニアとDockerの接点

フロントエンドエンジニアにとってDockerが必要となる場面は具体的に存在する。第一に、開発環境の再現性確保である。プロジェクトメンバーごとにNode.jsのバージョンや依存ライブラリが異なる問題を、Dockerを用いたコンテナ化によって解消するアプローチは、チーム開発の現場でほぼ標準化されている。第二に、CI/CDパイプラインへの組み込みである。フロントエンドのビルドとテストを自動化する際、GitHub ActionsなどのCIツールはDockerコンテナを前提として設計されることが多く、Dockerの基本的な理解なしにはパイプラインの構成やトラブルシューティングができない状況が発生する。第三に、バックエンドとの開発統合である。docker-composeを使用したフロントエンドとバックエンドの同時起動は、多くのチームで採用される開発フローであり、フロントエンドエンジニアもその設定を読み書きできることが求められる場面が増えている。

Dockerの採用拡大と並行して、LAPRASのデータではTypeScriptやGoなど「増加している言語」を使うプロジェクトにおいてコンテナ技術の組み合わせが一般的となっている点も、フロントエンドエンジニアがDockerを学ぶ動機を後押ししている。

5. AIコーディングツールの活用: 生産性を高める新たな必須スキル

生成AI技術の実用化は、フロントエンドエンジニアの日常業務にも具体的な変化をもたらしている。AIコーディングツールを単に使用するという段階を超え、どのように活用すれば生産性を最大化できるかを理解することが、現在の採用市場で差別化要素となりつつある。

フロントエンド開発におけるAIツール活用状況

Offers株式会社が2025年4月に公表した調査(「各開発フェーズにおけるAIコーディングエージェント活用実態」)では、AIコーディングエージェントが最も活用されているのはフロントエンドおよびバックエンド開発フェーズであり、いずれも50%超の活用率を記録している。デザインやテスト分

野も約33%の活用率となっており、開発ワークフロー全体にAIが浸透しつつあることが確認できる。(出典:[FNN – Offers「各開発フェーズにおけるAIコーディングエージェント活用実態」\(2025年4月\)](#))

Stack Overflow Developer Survey 2025では、大規模言語モデル(LLM)の開発活用に関して、OpenAIのGPTモデルが開発用途で82%の回答者に利用されており、AnthropicのClaude Sonnetはプロフェッショナル開発者の45%(学習段階の開発者は30%)に使用されていることが示されている。(出典:[Stack Overflow Developer Survey 2025 – Technology](#))

AIツール時代に必要とされるスキルセットの変化

AIコーディングツールの普及は、フロントエンドエンジニアに求められるスキルセットを変化させている。LAPRASが2025年に発表したレポートでは、AIが「コードを書く」役割を担い始めたことで、エンジニアに求められる役割は「技術で事業成長を導く」方向に移行しており、課題解決能力・技術応用力・マネジメント能力が重要性を増していると分析されている。(出典:[LAPRAS – AI時代に求められるエンジニアのスキル\(2025年\)](#))

具体的には、AIコーディングツールを使いこなすための「プロンプトエンジニアリングの基礎」、生成されたコードの品質評価・セキュリティレビュー能力、AIツールが苦手とするアーキテクチャ設計や要件定義における人間の判断力、といったスキルが現場で求められている。フロントエンドエンジニアとして、AIが生成したTypeScriptコードやReactコンポーネントを批判的に評価できる技術知識の深さが、AIツール活用の効果を決定づける。

野村総合研究所が2025年に公表した「IT活用実態調査(2025年)」では、生成AIを「導入済み」と回答した企業の割合が2023年度の33.8%から2025年度には57.7%へと拡大しており、企業がAI活用推進の速度を上げていることが確認できる。この状況下では、AIツールの活用経験を持つフロントエンドエンジニアとそうでないエンジニアとの間で、採用市場における評価に差が生じる可能性がある。(出典:[野村総合研究所「IT活用実態調査\(2025年\)」via AISmiley](#))

6. サイバーセキュリティの基礎知識: フロントエンドエンジニアが避けて通れない分野

サイバーセキュリティは一般的にはセキュリティ専門職の領域と思われがちだが、フロントエンドエンジニアも無関係ではない。クロスサイトスクリプティング(XSS)、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)、コンテンツセキュリティポリシー(CSP)といった脆弱性対策は、フロントエンドコードの品質に直接関わるセキュリティ知識である。さらに、労働市場全体でのセキュリティスキル需要は急拡大しており、この知識を持つフロントエンドエンジニアの市場価値は相対的に高まりやすい状況にある。

WEFが示すセキュリティスキルの市場価値

WEFの「Future of Jobs Report 2025」は、2025年に最も急成長するスキル領域として「AIとビッグデータ」「ネットワークおよびサイバーセキュリティ」「技術リテラシー」の三分野を挙げている。特に「ネットワークおよびサイバーセキュリティ」が急成長スキル第2位に挙げられていることは、あらゆるIT職種においてセキュリティへの理解が求められていることを示す。(出典:[WEF – Future of Jobs Report 2025](#))

フロントエンドにおけるセキュリティの実践的知識

フロントエンドエンジニアが理解すべきセキュリティ領域は具体的に整理できる。第一にXSS(クロスサイトスクリプティング)対策であり、ユーザー入力値のエスケープ処理、ReactのdangerouslySetInnerHTMLの適切な使用範囲の理解が求められる。第二にCSP(コンテンツセキュリティポリシー)の実装であり、HTTPレスポンスヘッダーを通じたリソースの読み込み制限によってXSS被害の拡大を防ぐ手法である。第三に認証・認可の設計への参加であり、JWTトークンの保存場所(LocalStorageとHttpOnly Cookieの違い)やOAuth 2.0の基本フローを理解することで、バックエンドエンジニアとのインターフェース設計に適切に関与できる。

これらのセキュリティ知識は、IPAが公開している「安全なウェブサイトの作り方」などの一次資料を通じて体系的に習得できる。セキュリティを意識したコードレビューの実施や、OWASPトップ10の理解は、フロントエンドエンジニアとしての市場価値を高める実践的な投資となる。

学習優先順位と組み合わせ戦略:個人のキャリアに合わせた技術選択

本稿で取り上げた六つの技術領域を一度に習得しようとすることは現実的ではない。現在のスキルセットとキャリア目標に基づいて優先順位を定め、段階的に習得していくアプローチが有効である。

技術領域	市場根拠	習得推奨度
TypeScript	GitHub #1言語(2025)、年収714万円(paiza 2025)	★★★★★
React / Next.js	国内求人数1位・14,676件(Findy 2025)	★★★★★
Vite / ビルドツール	Viteベロシティ137.74(State of JS 2025)	★★★★★
Docker	利用率71.1%・+17pt(Stack Overflow 2025)	★★★★★
AIコーディングツール	フロントエンド活用率50%超(Offers 2025)	★★★★★
セキュリティ基礎	WEF急成長スキル第2位(Future of Jobs 2025)	★★★★★

習得推奨度は各調査データが示す需要増加率・年収相関・求人件数増加率を基準として評価。

TypeScriptとReact/Next.jsは、求人数・年収・利用率のいずれの指標においても突出した数値を示しており、JavaScript経験のある開発者が最初に投資すべき技術として優先度が最も高い。次のステップとしてVite・Dockerを組み合わせることで、個人の開発力に加えてチームへの貢献範囲を拡大できる。AIツール活用とセキュリティ知識は継続的な学習として組み込むことが推奨される。

なお、Findy エンジニアキャリア調査(2024年)によれば、エンジニアの平均年収は年代別に20代で504.8万円、30代で682.4万円、40代で793.6万円と推移している。技術スタックのアップデートによる年収増加は、特に20~30代において顕著に現れる傾向があり、本稿が示す技術領域の習得はキャリアの早い段階で着手するほど長期的な効果が大きい。(出典:[Findy - エンジニアキャリア年収調査 2024年版](#))

おわりに: 市場データを踏まえた「次に学ぶべき技術」の総括

本稿では、複数の一次調査データを基に、フロントエンドエンジニアが次に学ぶべき六つの技術領域を示した。改めて各根拠となるデータポイントを整理すると、TypeScriptはGitHub上で初めて最多使用言語となり(Octoverse 2025)、国内年収データでも上位を占める(paiza 2025)。ReactとNext.jsは国内フリーランス案件で圧倒的な件数を誇り(Findy 2025)、LAPRASの求人分析でも「急速増加」カテゴリに分類されている。Viteはコミュニティ調査で全ビルドツール中最高のベロシティを示し(State of JS 2025)、Dockerは2025年に調査史上最大の単年増加幅で利用率71.1%を記録した(Stack Overflow 2025)。AIコーディングツールはフロントエンド・バックエンド開発フェーズで50%超の活用率となり(Offers 2025)、セキュリティスキルはWEFの調査で急成長スキル第2位に位置づけられている(Future of Jobs 2025)。

これらはすべて、2024~2025年に公開された一次調査または公式統計に基づく数値であり、特定の技術ベンダーやサービスの主張に依拠するものではない。フロントエンドエンジニアとしてのキャリアを長期的に構築するうえでは、本稿が示したようなデータドリブンな技術選択の姿勢そのものが、変化の速いこの業界を生き抜くための基本的な習慣となる。

Librus株式会社は、サイバーセキュリティおよび経営コンサルティングサービスを通じて、エンジニアと企業の双方が技術変化に的確に対応できる支援を行っている。エンジニア採用・育成・組織設計に関するご相談は、本稿末尾の問い合わせ先よりお気軽にご連絡いただきたい。

参考文献・出典一覧

1. GitHub, "Octoverse 2025: A new developer joins GitHub every second as AI leads TypeScript to #1", 2025. <https://octoverse.github.com/>
2. GitHub Blog, "What the fastest-growing tools reveal about how software is being built", 2025. <https://github.blog/news-insights/octoverse/what-the-fastest-growing-tools-reveal-about-how-software-is-being-built/>
3. Codecademy, "TypeScript is the Most-Used Language on GitHub — Here's Why", 2025. <https://www.codecademy.com/resources/blog/typescript-most-used-language-on-github>
4. Stack Overflow, "2025 Developer Survey – Technology", 2025. <https://survey.stackoverflow.co/2025/technology>
5. Stack Overflow, "2025 Developer Survey – Main Report", 2025. <https://survey.stackoverflow.co/2025/>
6. State of JavaScript, "Build Tools – State of JavaScript 2025", 2025. <https://2025.stateofjs.com/en-US/libraries/build-tools/>
7. devclass.com, "JavaScript survey reveals gripes against date handling, Webpack and Next.js – and that TypeScript has won", 2026年2月. <https://www.devclass.com/development/2026/02/10/...>
8. paiza株式会社, "プログラミング言語に関する調査(2025年版)", 2025年12月. https://www.paiza.co.jp/news/20251222/251222_survey_programming_2025/
9. Findy Freelance / PR Times, "TypeScriptエンジニア案件2025年9月最新", 2025. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000065.000116595.html>
10. LAPRAS HR TECH LAB, "プログラミング言語・フレームワーク別求人数の推移(2025年)", 2025. <https://hr-tech-lab.lapras.com/knowledge/research-report/programming-languages-frameworks2025/>
11. LAPRAS HR TECH LAB, "ITエンジニアの職種別年収トレンド(2025年)", 2025. <https://hr-tech-lab.lapras.com/knowledge/research-report/revenue-trends-2025/>
12. FNN / Findy Freelance, "Next.jsエンジニア案件2025年最新", 2025. <https://www.fnn.jp/articles/-/883042>

13. Offers株式会社 / FNN, "各開発フェーズにおけるAIコーディングエージェント活用実態(2025年4月版)", 2025. <https://www.fnn.jp/articles/-/853873>
14. World Economic Forum, "Future of Jobs Report 2025", 2025年1月.
<https://www.weforum.org/publications/the-future-of-jobs-report-2025/>
15. WEF, "Future of Jobs Report 2025 – Skills Outlook", 2025.
<https://www.weforum.org/publications/the-future-of-jobs-report-2025/in-full/3-skills-outlook/>
16. 野村総合研究所 / AISmiley, "IT活用実態調査(2025年)", 2025.
https://aismiley.co.jp/ai_news/nri-it-2025-ai/
17. Findy, "エンジニアキャリア年収調査 2024年版", 2024.
https://findy-code.io/blog/engineer-career_annual-income_01/
18. GitHub Gist (tkrotoff), "Front-end frameworks popularity 2025 – Stack Overflow survey data", 2025. <https://gist.github.com/tkrotoff/b1caa4c3a185629299ec234d2314e190>

監修者情報

鎌田 光一郎(かまた こういちろう)

青山学院大学法学部卒業後、SMBC日興証券株式会社にて法人営業を担当。その後、PwCコンサルティング合同会社にてDXおよびサイバーセキュリティ領域のマネジメントコンサルティング業務に従事。複数の大手企業に対するITガバナンス整備・セキュリティリスク評価・デジタル戦略立案を支援した実績を持つ。現在はLibrus株式会社の代表として、サイバーセキュリティコンサルティングおよび経営コンサルティングサービスの提供を通じ、企業のデジタル競争力向上を支援している。

運営会社・お問い合わせ

Librus株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋6丁目13-12 VORT新橋Ⅱ 4F

TEL: 03-6772-8015

お問い合わせフォーム: <https://librus.co.jp/contact>